

文化財探究舎講演会 えびな「石」ものがたり参加者を募集します

図教育総務課 ☎(235)4925

市内には多くの遺跡があり、石斧や板碑などの石を使った遺物が多く出土しています。このことから、石は古くから人々の身近にあったことが分かります。石の材質や魅力、使用例などの基礎知識のほか、最新の石器研究を学ぶ、どなたでも参加可能な講演会です。

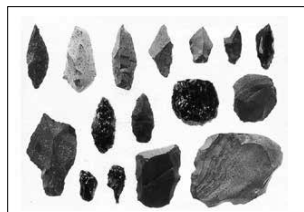
- ▼日時 3月19日(日)12時30分受け付け開始
- ▼場所 市役所401会議室
- ▼定員 先着100人
- ▼内容・講師 下表のとおり
- ▼費用 無料
- ▼申し込み 2月15日(水)から、電話で教育総務課へ。

【講師紹介】

瀬尾為明(せのおためあき)氏
市立中学校の理科副読本「海老名の大地」の編集にたずさわる。市教育委員会教育センターを経て、市立小・中学校の校長を歴任。
御堂島正(みどうしまただし)氏
市内在住。大正大学文学部歴史学科教授。平成28年11月、実験考古学の理論の体系化や石器研究に大きく寄与したことなどから、石器研究のノーベル賞とも呼ばれる「岩宿文化賞」を受賞。海老名でも夏休みに行われる石器作り教室や、相模国分寺むかしまつりなどのイベント運営に協力している。

	時間	演題	講師
説明	13時～ 13時40分	石から見てくる海老名の歴史	教育総務課文化財係職員
講演1	13時40分～ 14時50分	大地と人 海老名周辺の石の利用や大地との関わり	元市立小・中学校校長 瀬尾為明
講演2	15時～ 16時10分	石器の実験痕跡研究 —ミクロの痕跡からわかること—	大正大学教授 御堂島 正

えびなの「石」の一部を紹介



柏ヶ谷長ヲサ遺跡から出土したナイフ形石器(右)と石器類



石像物が並ぶ。庚申塔(左から2つ目)の東には「江戸」の文字も

◆道しるべの役目も

史跡相模国分寺跡の碑や庚申塔などが並び辻(国分南1丁目)。市内には、江戸時代に大山信仰に向かう人々が通った大山道があり、この辻にある庚申塔は道しるべの役割も果たしており、ここが交通の要衝であったことが分かります。ほかにも市内の路傍には道祖神や地藏などが今なお残り、多くの石が使われています。

【参考資料】

- ・海老名市史6通史編 原由・古代・中世
- ・自然と歴史のさんぽみち

経済対策分臨時福祉給付金を支給します

図海老名市給付金専用コールセンター ☎(235)6800
平日9時～17時

制度に関する問い合わせ

(厚生労働省給付金専用ダイヤル ☎0570(03)1929
9時～18時 ※土日祝含む)

対象と思われる方には、2月下旬に市から申請書を送付します。

返信用封筒で返信、または直接持参してください。

▼支給対象 平成28年度分市町村民税(均等割)が課税されていない方

▼受付場所 市役所7階臨時給付金事務室(3月中は庁舎1階特設窓口)

※課税者に扶養されている方・生活保護受給者は対象外です

▼その他 ・3月中旬までに申請書が届かない場合は、コールセンターにお問い合わせください。

▼支給額 1人につき1万5000円

・臨時給付金は平成28年1月1日に住民登録があった市町村で申請してください。

ご注意ください

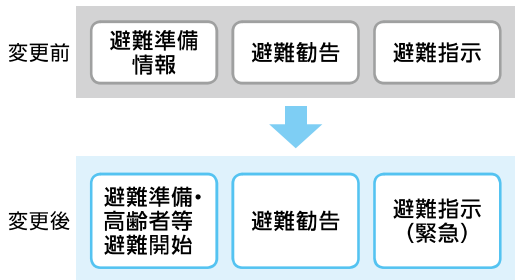
市や厚生労働省などの職員が、世帯構成や銀行口座番号などの個人情報をお聞きすることは絶対にありません。振り込め詐欺や個人情報の詐取などには、十分にご注意ください。怪しいと思った場合は、下記へ連絡してください。

海老名警察
(☎232-0110)
県警相談直通ダイヤル
(☎045-664-9110/
短縮ダイヤル#9110)

早めの避難を 避難情報の名称が変わります

図危機管理課 ☎(235)4790

平成28年台風第10号による水害では、東北・北海道の各地で甚大な被害が発生しました。このときに出された「避難準備情報」は、その意味するところが十分に伝わっていません。ことから、適切な避難行動が取られず多くの高齢者が犠牲になりました。これをもとに国では避難に関する情報を重ね、高齢者などが避難を開始する段階であることを明確にするため、下記のとおり名称変更を行いました。



各避難情報の意味

■避難準備・高齢者等避難開始

いつでも避難ができるよう準備をしましょう。身の危険を感じる人や高齢の方、障がいのある方、乳幼児連れの方などは、避難を開始しましょう。

■避難勧告

避難場所へ避難をしましょう。地下空間にいる人は速やかに安全な場所に避難をしましょう。

■避難指示(緊急)

直ちにその場から避難しましょう。外出することによって命に危険が及ぶような状況では自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。